

情報サービス産業白書 2014「変革の実現による新たな市場創造」アンケート中間報告説明会 開催

平成25年6月6日、TKP有楽町会議室において情報サービス産業白書2014「変革の実現による新たな市場創造」アンケート中間報告説明会が開催された。参加者は84名。

説明会では、最初に白書部会長の宗平順己氏((株)オービス総研 取締役執行役員技術部長)より挨拶があり、引き続いて(株)三菱総合研究所の江連三香氏(情報通信政策研究本部クラウドセキュリティグループ主任研究員)より、今回の白書の背景と狙いについて説明があった。主な内容は以下のとおり。

- 2013年版では、ITベンダーが変革を実現するための課題解決のポイントを明らかにした。これを受けて2014年版では、変革の実現によっていかにして顧客ニーズに対応し、新たな市場創造を実現するかを明らかにする。
- ビジネス領域の拡大ターゲットとして「従来の顧客であるIT部門の業務拡大」と「IT部門以外の顧客拡大」を取り上げる。
- 変化するビジネス環境において顧客が抱える経営課題を捉え、顧客に対してITベンダーが提供できる価値(=強み)と実際の提供状況、そして新しい市場を創造するための方向性を明らかにする。

また、白書アンケート集計結果について説明があった。主な内容は以下のとおり。

【定点観測項目】

- 2012年度のJISA会員企業の業況は、前年に比べ回復傾向であった。一方、ユーザ企業の業況はほぼ横ばいである。

【今回のテーマ「変革の実現による新たな市場創造」に関する項目】

- ITに対するユーザニーズは今なお業務効率化・品質向上が主ではあるが、一方で事業創造に関わるニーズも生まれつつある。
- 事業者の新規市場創出の方向性については、新しい提供サービス形態への取組や、対応する顧客部署の拡大を挙げる回答が多い。

白書編集部会では現在情報サービス産業白書2014の編纂作業を鋭意進めており、本年10月頃に刊行の予定である。

(田畑)